

改善計画書

施設名 株式会社エンジョイ ハピネスランド

(担当者 飯干)

(作成年月日 令和 3年 3月 26日作成)

改 善 事 項 等								施設コメント	
(施設としてやり続けるべくこれといる)	1	働きやすい職場づくりへの取り組み(全職員が積極的に発言が出来る、ご利用者様にとってより良いサービスが提供出来る職場づくりをします)							
	2	情報発信(SNSや事業所パンフレットを活用して、ご利用者様、保護者様、地域、関係機関への情報発信を継続していきます)							
	3	サービスの質の向上(PDCAサイクルを基に屋礼、終礼、施設会議、ケース会議、社内研修を定期的に行い、情報共有をしてご利用者様へのサービス向上を高めていきます)							
	4	保護者様からの要望やご利用者様のニーズに合わせたサービスを提供していきます							
	5								
	課題・改善点	達成目標	期間	開始時期	達成時期	改善スケジュール(人・予算・情報・手順等)	担当		
すべからぬこと	1	福祉サービスの質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 福祉サービスの見直しと向上を図る 全社員向けに、安全対策(感染症、非常時対策)について学ぶ機会を作る 	3カ月	3月	6月	<ul style="list-style-type: none"> 第三者評価の結果を基に福祉サービスの振り返りや見直しを行う 福祉サービスにおける安全対策について、学ぶ機会を作り全職員が対応出来るようにする 参加が難しい職員につきまちは、記録表を作り確認出来るようにする 	真田 川口	
	2	苦情解決の周知・機能	<ul style="list-style-type: none"> 記録を作成し、共有と苦情内容や結果等の公表 	3カ月	3月	6月	<ul style="list-style-type: none"> 記録表を作成し、全職員に共有を行う 苦情内容や結果等を公表出来るように、会社本部に提案しHPにて掲載出来るようにする 	真田	
	3	ご利用者様が相談や意見が言いやすい環境を整備する	<ul style="list-style-type: none"> 個別での面談が行うことができる 話をした内容を記録し職員間で共有出来るようにする 	3カ月	3月	6月	<ul style="list-style-type: none"> 活動の時間にご利用者様と個々で面談出来るように、スケジュールや仕組みを作成し、ご利用者様一人ひとりの話が出来るようにする 	真田 川口	
	4	安心・安全なサービスを提供するためのリスクマネジメント体制を整える	<ul style="list-style-type: none"> 改善策や再発防止策の検討を継続しつつ、その後評価・見直しを行う 安全・安心に繋がるようにヒヤリハットを積極的に活用し全職員が見える化を進める 	2カ月	3月	5月	<ul style="list-style-type: none"> ヒヤリハットの活用方法の周知徹底を行い、終礼で共有された内容はヒヤリハットに記録し改善と再発防止に努める 	真田	
	5								
工夫すればできること	1	実習生・ボランティアの受け入れ態勢の見直し	<ul style="list-style-type: none"> 実習生・ボランティアの受け入れ態勢やマニュアルの再検討と改善 	6カ月	3月	9月	<ul style="list-style-type: none"> 実際に実習生・ボランティアが来ていない状況であり鈴鹿市近辺の福祉に準ずる大学などに周知を行い受け入れが出来るようにする 	真田	
	2	非常時災害における訓練	<ul style="list-style-type: none"> 非常時におけるマニュアルの周知と改善 	6カ月	3月	9月	<ul style="list-style-type: none"> 自事業所で災害が起きた時の職員の役割や避難経路の確保など緊急時におけるマニュアルの改善 全職員が共通認識を持てるように年2回ご利用者様を交えて避難訓練の実施を行う 	川口	
	3	自施設紹介文の作成	<ul style="list-style-type: none"> 見学に来られた保護者様、ご利用者様に分かりやすく説明出来るように資料の作成を行う 	6カ月	3月	9月	<ul style="list-style-type: none"> 自事業所のパンフレットの見直し よくある質問などをまとめた別紙を作成する 	川口	
	4	プライバシー保護、個人情報保護の違いや職員への意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> プライバシー保護、個人情報保護の違いについて学ぶ機会を作る 全職員に周知徹底を行う 	6カ月	3月	9月	<ul style="list-style-type: none"> 社内研修で学ぶことが出来るように会社本部に掛け合い研修の場を設けることが出来るようにする 研修に参加出来ない職員に対しては、記録を残し確認出来るようにする 	真田	
	5								
予算化しないといけないこと	1	地域福祉のニーズに基づく、公益的な事業活動	<ul style="list-style-type: none"> 公益的な事業を行う 	6カ月	3月	9月	<ul style="list-style-type: none"> エンジョイ祭りの他にも自事業所や他事業所とも協力・検討し公益的な事業活動が出来るように会社本部に提案する 	真田	
	2								
	3								
	4								
	5								